ふれあいミーティング ～お医者さんと話そう②～

ふれあいミーティングとは？
地域住民と医療従事者が、仕事内容や地域医療の現状などについて、座談会形式で意見交換する企画です。
今回は、哲西地域の子育て世代のみなさんを中心に集まっていただきました。

■テーマ
・医療従事者の仕事について
・新見市の医療の現状について
・自分達にできること

■出席者
●哲西地域の子育て世代のみなさん
★医療従事者
鈴木医師（哲西診療所）
佐藤医師（哲西診療所）
藤井看護師（新見中央病院）

新見市の医療の現状について

（主な意見を掲載しています）

●地域のみなさん
子どもは38～39度くらい熱があっても元気があれば大丈夫だと聞いたことがあります。どのような症状になったら医療機関へ連れて行けば良いですか。

★医療従事者
（鈴木） 基本的に、子どもは熱があっても元気な時は大丈夫だと思います。熱が何度以上かということはあまり気にせずに、熱の経過とけいれんなど全身の状態を見ながら判断をしてもらえばよいと思います。

●地域のみなさん
子どもが受診している時、私たちからレントゲンなどの検査を医師にお願いしても良いのでしょうか。

★医療従事者
（佐藤） 気になれば言ってもらえれば良いと思います。先生に怒られるとか失礼だとかいうことはないと思います。

●地域のみなさん
アレルギーの症状が出た場合、どのように対応すれば良いですか。

★医療従事者
（藤井） アレルギーで一番怖いのは、アナフィラキシーショック（※）により呼吸困難など危険な状態になることです。症状が出て、それが進行する様子がみられた場合は、早めに救急車を呼んだ方が良いと思います。
食物のアレルギーに関して、子どもが初めてのものを食べる時は病院が開いている平日の昼間に試してもらえればと思います。

※極めて短い時間で発症する全身性のアレルギー反応で、血圧の低下や意識障害などを引き起こし、場合によっては生命を脅かす危険な状態をいう。

■問い合わせ先
市民課地域医療係
☎㉒6130